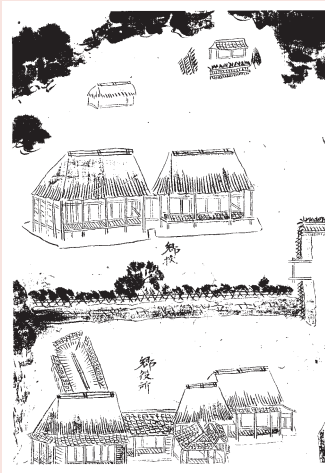


昔の学校

卒業式・入学式など学校に関わる行事の多い季節になりました。

今回は、昔の学校の見取図や昔の教科書・そろばん・石板といった学習道具をご紹介します。

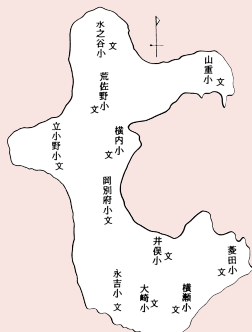


大崎郷見取図（複製）の一枚です。大崎にあった郷校が描かれています。日本において、最初に学校の制度が整えられたのは、明治時代の今から約140年前のことです。それ以前の江戸時代には、庶民の学びの場として各地域に寺小屋がありました。寺小屋では、『手習（習字）』『読物』『算用（そろばん）』といった日常生活に必要な勉強を教えていました。大崎では、野方の荒佐野にあったという記録が残っています。

う記録が残っています。

大崎の郷校は、小学校の前進です。図の大崎郷校は、明治3年に現在の大崎小学校のところに設けられました。図から郷役所に隣接していたことが分かります。

郷校は横内と仮屋ヶ谷にもありました。その後、大崎郷校は大崎小学校に、横内郷校は横内小学校に改められ、また仮屋ヶ谷郷校は廃校になりました。



村名	場所	児童数	
		男	女
野方村	立小野	213	4
〃	荒佐野	32	3
〃	水之谷	20	4
〃	山重	21	2
持留村	横内	20	5
岡別府村	中園	25	25
仮宿村	城内	148	95
井保村	中村	26	0
菱田村	地応寺	52	23
横瀬村	後迫	38	0
永吉村	牧之内	62	60

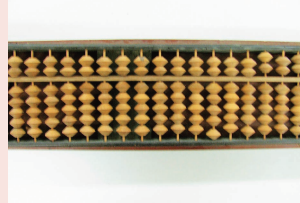
明治時代以後、学校の制度はたびたび改正され、学校名、学校数、修業年数などにも変遷が見られます。上の表と図は、明治12年の大崎郷の小学校、児童数、位置を示しています。

参考文献『時制百二十年史』文部省

『大崎町史 明治百年』大崎町

学生の頃の懐かしい思い出話や現在の学校の様子とくらべた感想など、ぜひお聞かせください。
(TEL 476-0548 社会教育課)

【そろばん】



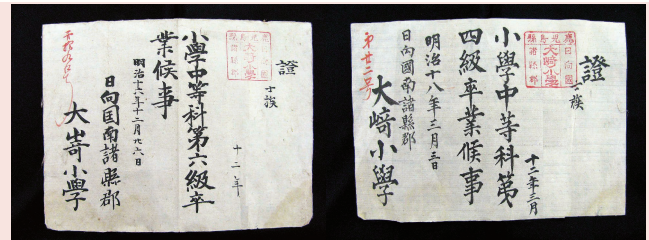
【石板】



昔の学習道具です。『そろばん』は、算術に用いられました。昔のそろばんはこのような五つ玉でしたが、今使われる場合は、四つ玉ですよね。

『石板』は、小さな黒板といった感じのもので、今のノートに近い筆記用具です。ただ『書く→消す』のくり返し使用のため、保存はできませんでした。筆の形に作った石（石筆）を使って書きました。

当時の人々は、教科書・石板・そろばん・草紙（習字紙）などを風呂敷に包んで登校しました。



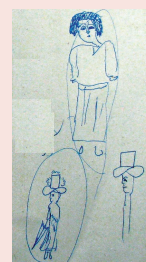
明治16・18年の卒業証書です。資料から当時の学校が階級性であったことや大崎が日向国に属していたことが伝わってきます。



100年近く前に使われていた教科書3点です。表紙にある『尋常小学』という文字が見えますか？『尋常小学校』は旧制の小学校のことで、義務教育の機関です。

尋常小学校では、主に修身（現在の道徳）・読書・作文・習字・算術といった授業が行われました。

3点の資料は、習字（4年生）と算術（6年生）と読書の教科書です。これらには、使用時の墨や筆算した跡が残っています。



…ちょっと一言…

昔の教科書にこのような落書き？を見つけ、何か懐かしさを感じました。今は昔にくらべ物も情報も豊富ですが、子どもの遊び心・好奇心といったものは、いつの時代も変わらないのかもしれない。

このような心、大切にしたいですね。
大崎町教育委員会 古田